

用語集（50音順）

○ アクティブ運用／パッシブ運用

アクティブ運用は、ベンチマークを上回る運用成績を上げることを目標とする運用手法です。投資地域や投資資産、個別銘柄の将来性等の分析等により、ポートフォリオの組入銘柄を随時調整し運用を行っています。

パッシブ運用は、ベンチマークに連動することを目標とする運用手法です。対象とするベンチマークの採用銘柄や構成比と類似するように銘柄を組入れ、それを維持することによってベンチマークと同様の運用成果を得ようとするものです。

○ 基本ポートフォリオ

ポートフォリオとは、あるファンドの資産全体が複数の資産で構成される場合に、その組み合わせられた全体のことをいいます。

年金資産の運用にあたっては、年金資産の安全かつ効率的な運用を行うための最適な資産配分を計算し定めたポートフォリオを基本ポートフォリオといいます。

○ 財政融資資金預託金

財政融資資金へ預託しているもので、約定期間に応じ、国債の利回りに即して利率が定められています。

被用者年金制度一元化前の平成27年9月30日まで、国家公務員共済組合法の規定により長期経理における前年度末長期給付積立金の34%を預託することが義務付けられていましたが、平成27年10月以降、預託義務は廃止されています。

○ 時間加重収益率

運用受託機関の運用能力を正確に把握するために、キャッシュフローの影響を排除した収益率を時間加重収益率といいます。

○ 実現収益額／実現収益率

実現収益額は、利息・配当金や売買損益のように現金として実際に入金された収益額のことをいいます。

実現収益率は、実現収益額を元本平均残高で割ったものです。

○ 総合収益額／修正総合収益率

総合収益額は、実現収益額（簿価ベースの収益額）に評価損益額の増減等を加味した時価ベースの収益額です。

修正総合収益率は、総合収益額を元本平均残高＋前期末未収収益＋前期末評価損益で割ったものです。

○ 超過収益率

ポートフォリオ収益率とベンチマーク収益率の差を超過収益率（アクティブ・リターン）といいます。

○デュレーション/修正デュレーション

デュレーションは、キャッシュフローが発生するまでの期間を各期のキャッシュフローの現在価値で加重平均したものであり、債券に投資された資金の平均回収期間のことをいいます。

また、デュレーションを $(1 + \text{最終利回り})$ で除したものを修正デュレーションといい、金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す感応度を表しています。例えば、修正デュレーションが5というのは、金利が1%上昇した場合、債券価格はおよそ5%下落することを意味しています。

○トラッキングエラー（TE）

ベンチマークに対する超過収益率のばらつきを度合いを表すリスク指標で、アクティブ・リターン（超過収益率）の2乗の平均値の平方根を取ったものです。目標であるベンチマークから乖離する可能性を表しています。

マルチファクターモデル等を用いて将来のトラッキングエラーを推測したものを推定トラッキングエラーといいます。例えば、推定トラッキングエラーが2%の場合、ポートフォリオ収益率が約6.8%の確率でベンチマーク収益率 $\pm 2\%$ の範囲内に収まることを示しています。

○β値

個別証券やポートフォリオと市場の連動性を示すリスク指標で、投資収益率の市場平均収益率に対する感応度を表しています。一般に、β値が1であれば、市場平均と同様の値動きをし、1より大きければ市場平均より値動きが大きく、1より小さければ市場平均より値動きが小さいことを示しています。

○ベンチマーク

ファンドの運用の目標とする基準、あるいはパフォーマンスを評価する基準のことで、市場を代表する指数を使用しています。連合会で定める各運用資産の政策ベンチマークは以下のとおりとなっています。

- 国内債券 NOMURA-BPI（総合）
- 国内株式 TOPIX（配当込み）
- 外国債券 FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし、円ベース）
- 外国株式 MSCI KOKUSAI（円ベース、配当込み、配当課税前）

なお、連合会が運用受託機関ごとに定めているマネージャー・ベンチマークは、業務概況書【資料編】をご参照ください。

○ベンチマーク収益率

ベンチマークの騰落率で、市場平均収益率のことをいいます。